

# デジタル田園都市国家構想交付金

## 事業シート

### 第9回八戸市総合計画等推進市民委員会

令和5年 11 月 28 日

八 戸 市

## 事業シート目次

No. 1	八戸産ぶどうを活用したワイン産業の創出による地域経済活性化事業（推進）	… P 3
No. 2	はちのへ空き家再生事業（推進）	… P 5
No. 3	はちのへマチナカ活性化プロジェクト（推進）	… P 7
No. 4	八戸 A I データワーク推進事業（推進）	… P 10
No. 5	はちのへ AI（アイ）中心街・バス活性化プロジェクト(推進)	… P 12
No. 6	八戸都市圏の食ブランドを活かした広域連携による稼ぐ力強化事業（推進）	… P 14
No. 7	蕪島エントランス整備事業（拠点）	… P 16
No. 8	多賀多目的運動場スタジアム照明整備事業（拠点）	… P 18
No. 9	市営魚菜小売市場を核とした官民連携による個性あふれる商店街の形成と水産業の振興（拠点）	… P 20

## 事業シートの見方

### No.○ □□□□□事業（推進・拠点）

※事業名とデジタル田園都市国家構想交付金（推進）または、デジタル田園都市国家構想交付金（拠点）のどちらを活用したか記載しています。

#### 1. 事業概要

担当部署：△△△△課

目 的	※本事業の目的を記載しております。
事業期間	平成〇〇年度～令和〇年度（〇年間）
令和4年度実績額	総事業費：〇〇〇〇千円（うち国費：〇〇〇〇千円） ※千円以下は切り捨て
交付金事業の取組及び実績	<p>【過去の取り組み】</p> <p>※別紙資料2参照</p> <p>【令和4年度の取組】</p> <p>※本事業に関する取組及び実績を記載しております。</p> <p>※千円以下は四捨五入</p>
K P I	※別紙資料2参照
担当部署評価	<p>※担当部署において、凡例を基に5段階の評価をしております。</p> <p><input type="checkbox"/>①地方創生に非常に効果的であった    <input type="checkbox"/>②地方創生に相当程度効果があった</p> <p><input type="checkbox"/>③地方創生に効果があった                      <input type="checkbox"/>④地方創生に対して効果がなかった</p> <p><input type="checkbox"/>⑤効果の有無はまだわからない</p>
担当部署評価理由	※上記の評価をした理由を記載しております。

## 2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ① 地方創生に非常に効果的であった
- ② 地方創生に相当程度効果があった
- ③ 地方創生に効果があった
- ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄
-------

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

## No.1 八戸産ぶどうを活用したワイン産業の創出による地域経済活性化事業（推進）

### 1. 事業概要

担当部署：農業経営振興センター

<p>目 的</p>	<p>八戸市の主要農産物の1つである葉たばこの生産が、たばこ需要の減少により縮減していることから、平成26年5月に市の附属機関として「八戸市南郷新規作物研究会議」を創設し、その会議の検討の結果、国内市場が拡大傾向にあり、ぶどうの生産、ワインの製造、物流及び販売等裾野が広く、飲食業等の既存の民業への波及効果の高いワイン産業の創出により、付加価値の高い農業の振興による地域経済の活性化を図ることを目的とする。</p>
<p>事業期間</p>	<p>平成30年度～令和4年度（5年間） ※横展開タイプ          ※イガラシ綜業(株)より、企業版ふるさと納税を活用した200万円の寄附金を受納した(R2/6/24)ことで、事業期間を2年間延長するインセンティブを受けた。</p>
<p>令和4年度実績額</p>	<p>総事業費：5,186千円（うち国費：2,593千円）</p>
<p>交付金事業の取組及び実績</p>	<p>【過去の取組】          別紙資料2 1ページ参照</p> <p>【令和4年度の取組】</p> <p>①八戸市ワイン需要拡大プロジェクト          概要：市内のワイン需要の拡大や人材育成のため、八戸ワインフェス、八戸ワイン産業振興セミナー及び八戸ワインカレッジ等の市民向けのイベントを開催する。          実績：八戸ワインフェス 1回開催          八戸ワイン産業振興セミナー 2回開催（延べ50人参加）          八戸ワインカレッジ 1回開催（オンライン講義/22人参加）          販売促進事業（8baseで実施） 3回開催          事業費：693千円</p> <p>②八戸市ワイン産業創出支援事業          概要：ワイン用ぶどうの生産量のさらなる増大による農業振興を目的に、南郷地区で農業生産を行う市内農業経営体のワイン用ぶどうの苗木購入に要する経費を補助する。（補助率1/2以内）          実績：交付先 計8農業経営体          事業費：1,851千円</p> <p>③八戸市ワイン用ぶどう雨よけ施設等整備支援事業          概要：ワイン用ぶどうの品質の向上による農業振興を目的に、南郷地区でワイン用ぶどう栽培を行う市内農業経営体のワイン用ぶどうの雨よけに必要なビニール等の購入に要する経費を補助する。（補助率1/2以内）          実績：交付先 計5農業経営体          事業費：1,920千円</p> <p>④ワイン用ぶどう生産講習会の開催          概要：ワイン用ぶどうの生産に関する技術力の向上を図るため、ワイン用ぶどう生産経営体を対象とした生産講習会を開催する。          実績：3回開催（延べ20人参加）          事業費：222千円</p>

	<p><b>⑤八戸市ワイナリー創出支援事業補助金</b>  概要：ワイナリーの整備に対して補助による支援を行う。  実績：交付先 1社  事業費：500千円</p>
K P I	別紙資料2 2～3ページ参照
担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署 評価理由	KPIは、目標値に達しなかったものの、ワイン需要の拡大や人材育成のためのイベント、並びにワイン用ぶどうの生産量増大に向けた取組等を実施することにより、概ね事業の目的とする効果が得られたとみなせるため、地方創生に効果があったものとする。

## 2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ⑤効果の有無はまだわからない

委員メモ欄
-------

(評価の凡例：選択肢)

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPIの実績が出ていない場合

## No.2 はちのへ空き家再生事業（推進）

### 1. 事業概要

担当部署：都市政策課

<p>目 的</p>	<p>近年、全国的に増加し問題となっている空き家について、地元企業（不動産・IT 企業）のほか、PR 効果と情報発信力を期待できる地元スポーツチームと連携し、空き家に対する住民意識の醸成や効果的な PR を図りながら、空き家利活用の促進等に取り組み、空き家再生の成功事例を生み出すとともに、地域経済の活性化及び地域スポーツの振興を図ることを目的とする。</p>
<p>事業期間</p>	<p>平成 30 年度～令和 4 年度（5 年間） ※横展開タイプ          ※ 信金中央金庫より、企業版ふるさと納税を活用した 200 万円の寄附金を受納した (R3/2/24) ことで、事業期間を 2 年間延長するインセンティブを受けた。</p>
<p>令和 4 年度実績額</p>	<p>総事業費：36,061 千円（うち国費：18,030 千円）</p>
<p>交付金事業の取組及び実績</p>	<p>【過去の取組】          別紙資料 2 4 ページ参照</p> <p>【令和 4 年度の取組】</p> <p><b>①空き家の実態調査及びデータベースの作成</b>          概要：空き家の実態調査を実施し、空き家の基本データを収集してデータベースを構築する。実態調査は、空き家再生を図ることによって一定の効果が見込める地域（中心市街地周辺等）を対象として実施する。          実績：令和 4 年度調査地区：白銀地区、大館地区</p> <p><b>②空き家ポータルサイトの運営</b>          概要：空き家バンク機能を有するほか、空き家の利活用等に関する各種情報を掲載し、空き家の利活用希望者等に対しワンストップで対応できる空き家ポータルサイトを運営。          実績：令和 5 年 3 月 31 日時点登録者数          空き家バンク登録物件数（累計） 68 件（うち 51 件成約）          空き家バンク協力事業者 39 事業者（宅地建物取引業者）          空き家相談協力員 53 人          （弁護士 6 人、税理士 1 人、司法書士 2 人、宅地建物取引士 44 人）</p> <p><b>③空き家対策に関する P R</b>          概要：空き家対策に関する P R 動画を制作し、インターネット（空き家ポータルサイト等）で公開する。          空き家ずかんに掲載した物件の紹介動画を作成し、公開する。          実績：PR 動画 2 本作成・公開          空き家ずかん掲載物件紹介動画 11 本作成</p> <p>※上記①～③をまとめて空き家再生事業業務委託として実施(事業費：35,204 千円)</p> <p><b>④空き家情報管理システムの運用</b>          概要：実態調査で収集した空き家データベース等の空き家情報を一元管理するシステムの運用を行う。          実績：前年度に構築したシステムを運用し、各空き家の属性に応じたアプローチを実施。不動産に関する民間事業者等と連携した空き家解消取組体制への空き家情報の共有に向け、令和 3 年度に実施した空き家実態調査のデータを新たに搭載。          事業費：858 千円</p>

K P I	※別紙資料2 5～6ページ参照
担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署 評価理由	<p>空き家バンクのマッチング率は上昇している一方で、登録件数が伸び悩んでいる。このため、実態調査で把握した空き家所有者に対し、空き家バンク制度やこれと連携する補助金を周知するとともに、活用意向調査を実施した。調査結果の有効活用と空き家解消件数増加を目指し、令和5年度に空き家利活用のための官民連携組織を市と不動産・法律・建築等の専門団体等で立ち上げる予定である。</p> <p>また、空き家ポータルサイトについては、空き家バンク機能に加え、物件PR動画や企業・移住事例を掲載した空き家総合サイトとしての構築後も、継続的にコンテンツを充実させているほか、市広報紙や町内会へのチラシ配布等を通じて認知度向上に努めたことにより、アクセス数は着実に増加している。</p> <p>上記により、目標の一部は未達成であるものの、事業開始前よりも空き家対策の取組が前進したと考える。</p>

## 2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ⑤効果の有無はまだわからない

委員メモ欄
-------

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPIの実績が出ていない場合

## No.3 はちのへマチナカ活性化プロジェクト（推進）

### 1. 事業概要

担当部署：八戸ポータルミュージアム、  
美術館

目的	「はっち」、「八戸ブックセンター」、「マチニワ」と併せて、令和 3 年度には「八戸市新美術館」が開館し、半径 200 メートル以内に文化関連施設が集積しているという立地条件を活かし、「稼ぐ文化」を実践するための様々な施策を総合的に展開し、市民の文化力向上と地域経済活性化の両方を達成することを目的とする。
事業期間	平成 30 年度～令和 4 年度（5 年間） ※横展開タイプ ※信金中央金庫より、企業版ふるさと納税を活用した 200 万円の寄附金を受納した (R3/2/24) ことで、事業期間を 2 年間延長するインセンティブを受けた。
令和 4 年度実績額	総事業費：62,538 千円（うち国費：31,269 千円）
交付金事業の取組及び実績	<p>【過去の取組】 別紙資料 2 7 ページ参照</p> <p>【令和 4 年度の取組】</p> <p>① <b>人材育成事業</b></p> <p>①-1 <b>マチニワアドバイザー事業【八戸ポータルミュージアム】</b> 概要：マチニワの運営や広場の活用に関し、公共広場の運営等に関するノウハウを有する者からアドバイスを受ける。 実績：アドバイザーによるアドバイスを 1 回実施 事業費：33 千円</p> <p>①-2 <b>スクール事業【八戸ポータルミュージアム】</b> 概要：文化芸術、地域の伝統、ものづくり等の講座やワークショップを月に 1 回程度開催することにより、市民に多様な分野について学ぶ機会を提供する。 実績：市民ワークショップを 18 回開催（延べ 446 名参加） 事業費：475 千円</p> <p>①-3 <b>アートファーマープロジェクト【美術館】</b> 概要：新美術館の企画に主体的・能動的に関わる市民スタッフが、活動を展開する上で必要なスキルを体得できるよう、専門家による講義や実践を行う。 実績：・建築ツアーガイド二期生を新たに募集し、講座を 4 回、実践 13 日開催（毎月第 4 土曜日に定例で実施しているほか、イベント開催時などに不定期で実施）、ガイド後は毎回、茶話会（振り返りの会）を開催し次回以降の活動に活かしている ・種探しラボ 02 館長座談会「美術館のアクセシビリティ」 館長がゲストを迎え、これからの八戸市美術館について考える座談会。 参加人数：25 人 ・アクセシビリティ企画 キックオフミーティング 誰でも気軽に利用できる美術館（＝美術館のアクセシビリティの向上）を目指し、障がいのある方とのプログラムを検討するミーティングを実施。 事業費：347 千円</p> <p>①-4 <b>大学資産を活用したアートの学び事業【美術館】</b> 概要：大学連携を具現化するため美術館内に整備する大学活動拠点と連携した事業の方向性を探るとともに、大学と連携して実施するアートを切り口とした多彩な講</p>



座・ワークショップなどを通じた人材育成事業を展開し、中心市街地の活性化や地域経済の活性化に繋げる。

- 実績：・三校連携創作体験ワークショップ  
8 回開催、受講者延べ 183 人  
・学生×社会人のアートの学び実践講座事業【ジャイアントルーム開拓団】  
3 回開催、参加者 25 名  
・美術館のアクセシビリティ向上事業（託児サービス）  
8 日間開催、延べ利用者数 60 名

事業費：2,499 千円

## ② 稼ぐ、回遊性の向上、コト（時間消費）、繋がる活動

### ②-1 手しごと展開催事業【八戸ポータルミュージアム】

概要：はっちの館内展示に関わる市民作家を、作品やパネルで紹介する展示を開催。

実績：9 日間開催（紹介作家 11 組、延べ 1,153 名来場）

事業費：367 千円

### ②-2 賑わい創出イベント開催事業【八戸ポータルミュージアム】

概要：日常の賑わいを生む企画やストリートパフォーマンス（大道芸等）を観覧するイベントを実施する。

実績：イベント計 5 回開催、参加団体計 6 団体

事業費：349 千円

### ②-3 マチニワ内装飾【八戸ポータルミュージアム】

概要：クリスマスなど季節に合わせた館内装飾を実施。

実績：バルーン装飾、ジョーゼット設置等を実施。

事業費：655 千円

### ②-4 グリーンプロジェクト【八戸ポータルミュージアム】

概要：植物の専門家などと連携し、市民参加による、植物について学びながら、緑を育む気持ちを育てていく企画を実施。

実績：ワークショップ 3 回を開催、延べ 41 名参加

事業費：170 千円

### ②-5 新美術館展覧会企画業務委託【美術館】

概要：新美術館のビジョンを体現するコレクション展・巡回展・企画展などの展覧会に係る企画・設営等を実施。

実績：・持続するモノガタリ展（R4.3.19～6.6）

観覧者数 4,427 人（R4 年度）

・まるごと馬場のぼる展 描いた つくった たのしんだニャゴ（R4.7.2～8.29）

観覧者数 21,062 人

・佐藤時啓 - 八戸マジックランタン -（R4.10.29～R5.1.9）

観覧者数 6,305 人

・美しい HUG！（R5 年度開催に向けた準備を実施）

・コレクションラボ事業

▶コレクションラボ 001 舟越保武展 静謐の中に佇む（R4.3.12～6.20）

観覧者数 6,418 人

▶コレクションラボ 002 地をみつめる（R4.9.10～R5.1.16）

観覧者数 9,809 人

▶コレクションラボ 003 七尾英凰 - 花鳥風月を愛でる（R5.1.21～2.20）

観覧者数 2,239 人

▶コレクションラボ 004 伊藤二子 - 生のかたち -（R5.2.24～4.10）

観覧者数 3,480 人

事業費：63,157 千円

	<p><b>③観光・インバウンド事業</b></p> <p><b>③-1 はっち観光展示リニューアル【八戸ポータルミュージアム】</b></p> <p>概要：はっちにある観光展示のリニューアルを実施。 実績：新むつ旅館の展示模型の修復を行った。 事業費：200千円</p>
K P I	別紙資料2 8～9ページ参照
担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署 評価理由	<p>新型コロナウイルスの影響により、一部の KPI の達成は難しかったが、感染対策を施したうえで中心市街地への来街のきっかけとなるような事業・イベントを実施することができた。</p> <p>特に美術館においては、KPI で設定していた入館者数を達成することができ、地方創生に効果があったものとする。</p>

## 2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ⑤効果の有無はまだわからない

委員メモ欄
-------

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

## No.4 八戸 AI データワーク推進事業（推進）

### 1. 事業概要

担当部署：産業労政課

目的	AI アノテーション作業を行う事業者を支援することで、多様な働き方が期待できる AI アノテーションという新たなしごとを創出しつつ、多様な就業機会や誰もが活躍できる地域社会の確立を目的とする。
事業期間	令和2年度～令和4年度（3年間） ※横展開タイプ
令和4年度実績額	総事業費：11,008千円（うち国費：5,504千円）
交付金事業の取組及び実績	<p>【過去の取組】 別紙資料2 10ページ参照</p> <p>【令和4年度の取組】 ①AI アノテーション作業を行う事業者に対する補助（公募） 概要：AI アノテーション作業を行う事業者に対し、AI アノテーション作業を行うための環境の整備や、AI アノテーション作業についての専門人材育成にかかる経費等について支援する。 実績：AI アノテーション作業を行う事業者に対する補助（公募）補助事業者3者 事業費：11,008千円</p>
K P I	別紙資料2 11～12ページ参照
担当部署評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	KPIのうち、「新たに育成した専門人材数」や「受注したアノテーション件数」は目標に達しなかったものの、「作業従事者数」の目標は達成しており、総じて着実に数値が増加したため、地方創生に効果があったものとする。

## 2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ① 地方創生に非常に効果的であった
- ② 地方創生に相当程度効果があった
- ③ 地方創生に効果があった
- ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄
-------

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

## No.5 はちのへ AI (アイ) 中心街・バス活性化プロジェクト (推進)

### 1. 事業概要

担当部署：政策推進課、情報政策課、  
まちづくり推進課

目的	デジタル技術を活用し、中心街への誘客推進と公共交通の利用促進を図るとともに、人流データ等を活用した中心街の賑わい創出やバス路線の最適化に向けた施策立案を行い、さらなる市政発展に繋げていくことを目的とする。
事業期間	令和4年度～令和6年度（3年間） ※横展開タイプ
令和4年度実績額	総事業費：22,749千円（うち国費：11,374千円）
交付金事業の取組及び実績	<p>【令和4年度の取組】 別紙資料2 13ページ</p> <p><b>①はちまちアプリの開発・実装【まちづくり推進課】</b> 概要：中心街のスポットやイベント情報、店舗紹介など情報を発信するアプリ。外国語対応を付加し、市内外からの外国人誘客を図るとともに、飲食店などへのデジタルクーポンを付与し、中心街の誘客推進とバス IC カードの利用促進を図るもの。 事業費：10,000千円</p> <p><b>②人流・分析システムの開発・実装【政策推進課】</b> 概要：中心街に設置する AI カメラ、まちなか Wi-Fi を活用して集積データを分析するためのシステム。中心街の賑わい創出のための施策立案などに活用するもの。 事業費：10,000千円</p> <p><b>③GIS システム（既存）の改修【情報政策課】</b> 概要：開発中のバス IC カードポイント付与システム、キャッシュレス決済システムとの連動を図るため、市が保有する GIS システムについて、住民基本台帳と連動していない部分に対する改修。より高度なデータ分析を行い、最適なバス路線への変更や時刻表を改定するなどの施策を行うことが可能となるもの。 事業費：2,750千円</p> <p>【（参考）令和5年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八戸市中心市街地駐車場共用化システムの開発・実装（繰越事業）</li> <li>・バス IC カードポイント付与システム・キャッシュレス決済システムの開発・端末の整備（繰越事業）</li> <li>・まちなか Wi-Fi、AI カメラの整備（繰越事業）</li> <li>・はちまちアプリの運営</li> </ul>
K P I	別紙資料2 14～15ページ参照

担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input checked="" type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署 評価理由	令和4年度においては、システムやアプリ開発、AIカメラ等の設置準備期間といった環境の整備期間であったため、効果の有無はまだわからないものとする。

## 2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ⑤効果の有無はまだわからない

委員メモ欄
-------

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPIの実績が出ていない場合

## No.6 八戸都市圏の食ブランドを活かした広域連携による稼ぐ力強化事業（推進）

### 1. 事業概要

担当部署：広報統計課、観光課、  
商工課

目的	<p>関係人口を増やし、関係性を深化させることによって、確度の高い顧客を確保するとともに、若年層、働く世代の当圏域への移住・定住、食ブランドの販路拡大による地域活性化とそれらの相乗効果による八戸都市圏の「稼ぐ力」の強化を図ることを目的とする。</p>
事業期間	<p>平成29年度～令和4年度（6年間） ※横展開タイプ          ※REGAIN GROUP(株)より、企業版ふるさと納税を活用した200万円の寄附金を受納した(H31/1/31)ことで、事業期間を2年間延長するインセンティブを受けた。          ※平成29年度～令和3年度までの5か年計画であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業の一部（商工課担当の海外販路拡大事業のうち一部）について令和4年度に繰り越したため、結果的に6年間の事業となったもの。</p>
令和4年度実績額	<p>総事業費：2,004千円（うち国費：1,002千円）※令和4年度繰越事業分のみ</p>
交付金事業の取組及び実績	<p>【過去の取組】 別紙資料2 16ページ参照</p> <p>【令和4年度の取組】</p> <p><b>①海外販路拡大事業【商工課】</b>          概要：ASEAN 諸国（主にベトナム、シンガポール）及び米国等へ販路拡大を目指す企業を支援し、圏域の地場産品の更なる販売促進及び認知度向上を図るため、国内外バイヤーとの商談会、現地での営業活動、プロモーション活動等を実施する。          R4 事業内容：新型コロナウイルス感染症等の影響により、物流の停滞・遅延が発生し、米国において実施予定であった令和3年度事業のうち、一部が令和4年度に繰り越して実施されたもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○米国（西海岸地域）に展開している日本の情報誌等に、八戸市の特産品の記事掲載、SNSでの情報発信の実施              配付部数：Uwajimaya（西海岸地域を代表する日本食取り扱いスーパーマーケット）4,000部 他</li> <li>○八戸市の特産品の調理方法、食べ方の紹介動画作成              作成件数：11件（参加メーカー個別動画8件、レストランとのタイアップ動画3件）</li> <li>○米国の小売店が運営するECサイトにおける八戸特産品の販売体制の整備              依頼先：1企業（日本食取り扱いのある複数サイトより選定）</li> <li>○米国（西海岸地域）の小売店、レストラン等への営業訪問実施              訪問先：12社（日本食取り扱いスーパーマーケット、中華系日本食居酒屋 他）</li> <li>○米国（西海岸地域）のレストランでのプロモーション活動実施              訪問先：6店舗（八戸市特産品を活用したメニューを開発）</li> </ul> <p>事業費：2,004千円</p>

K P I	別紙資料 2 17～18 ページ参照 ※5 年計画事業で事業認定されていたため、KPI は平成 29 年度～令和 3 年度までの設定となりますが、参考までに掲載しております。
担当部署 評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署 評価理由	八戸の特産品を使用した米国での販売促進活動、PR 活動を実施したことにより、地場産品の認知度向上に寄与することができたため、地方創生に効果があったものとする。

## 2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ⑤効果の有無はまだわからない

委員メモ欄
-------

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合



## No.7 蕪島エントランス整備事業（拠点）

### 1. 事業概要

担当部署：観光課

目的	<p>三陸復興国立公園の北の玄関口である蕪島地区において、地域の特産品や土産品等の販売のほか、休憩もできる憩いの空間としての蕪島物産販売施設を整備することで、蕪島地区での滞在時間の延長、地域の賑わいの創出及び地域経済の振興を図ることを目的とする。</p> <p>また、令和2年3月に、当市を代表する観光スポットである蕪嶋神社の再建工事が完了し、令和2年5月に物産販売施設がオープンした。観光入込客数の増加、地域経済活性化等の相乗効果を図ることで年間10万人以上の集客を目指す。</p>
事業期間	令和元年4月～令和2年3月（工事期間）
令和4年度実績額	-
交付金事業の取組及び実績	<p>【過去の取組】 別紙資料2 19ページ参照</p> <p>【令和4年度の取組】 ①蕪島物産販売施設の運営 概要：物産機能、飲食提供機能、休憩機能を持つ物産販売施設を運営する。 実績：来店者 191,857人 事業費：6,426千円（市単費）</p>
K P I	別紙資料2 20～21ページ参照
担当部署評価	<p><input checked="" type="checkbox"/>①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/>②地方創生に相当程度効果があった</p> <p><input type="checkbox"/>③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/>④地方創生に対して効果がなかった</p> <p><input type="checkbox"/>⑤効果の有無はまだわからない</p>
担当部署評価理由	売上金額及び入込客数ともに KPI の目標値を上回っており、事業の目的とする効果が大いに得られたと考える。

## 2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ⑤効果の有無はまだわからない

委員メモ欄
-------

〈評価の凡例：選択肢〉

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

## No.8 多賀多目的運動場スタジアム照明整備事業（拠点）

### 1. 事業概要

担当部署：スポーツ振興課

目的	多賀多目的運動場天然芝球技場において、夜間も興行等を行えるような照明設備を設置し、Jリーグが求めるスタジアム基準を満たすホームスタジアムの整備を行う。また、関連する事業を強化していくことで、県内外からより多くの来訪者を呼び込み、交流人口の拡大を通じた地域経済の活性化と観るサッカー文化の醸成を図る。
事業期間	令和2年4月～令和3年3月
令和4年度実績額	-
交付金事業の取組及び実績	<p>【過去の取組】 別紙資料2 22ページ参照</p> <p>【令和4年度の取組】 ①<b>多賀多目的運動場天然芝球技場の運営</b> 概要：照明設備を使用し、Jリーグ公式戦においてナイトゲームを開催する。 照明設備を使用し、市民等に向けた夜間の興行を行う。 実績：公式戦17試合開催</p>
K P I	別紙資料2 23～24ページ参照
担当部署評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	新型コロナウイルス感染症の影響により、KPIは目標値に達しなかったものの、Jリーグ公式戦ナイトゲームでは、松本山雅FC戦においてシーズン最大の観客動員数を記録する等、地域経済の活性化と観るサッカー文化の醸成に一定程度の成果があったと思われる。

## 2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ① 地方創生に非常に効果的であった
- ② 地方創生に相当程度効果があった
- ③ 地方創生に効果があった
- ④ 地方創生に対して効果がなかった
- ⑤ 効果の有無はまだわからない

委員メモ欄
-------

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合

## No.9 市営魚菜小売市場を核とした官民連携による個性あふれる商店街の形成と水産業の振興（拠点）

### 1. 事業概要

担当部署：まちづくり推進課

目的	陸奥湊駅通り地区商店街を牽引してきた代表的な施設である市営魚菜小売市場のリニューアルを通して、小売機能の再生による商店街の振興、魚食普及による水産業振興、観光機能の充実による誘客推進のそれぞれが機能し、相乗効果を生むことで地区の活性化を目指す。
事業期間	令和3年4月～令和4年11月
令和4年度実績額	総事業費：473,566千円（うち国費：236,783千円）
交付金事業の取組及び実績	<p>【令和4年度の取組】別紙資料2 25ページ参照</p> <p>①八戸市営魚菜小売市場改修等工事（建築・電気設備・機械設備）  概要：従来からの物産販売拠点機能を強化しつつ、市民や観光客の滞在コミュニティ機能や水産業振興、観光振興につながるリノベーション改修  実績：セットバックによるオープンスペース、キッチンスタジオ、展示コーナー等設置  事業費：472,621千円</p> <p>②八戸市営魚菜小売市場デザインディレクション等業務委託  概要：施設内テーブル・椅子・幟・暖簾等製作及び展示空間整備  実績：木製テーブル10、椅子40、展示コーナー設置  事業費：945千円</p>
K P I	別紙資料2 26～27ページ参照
担当部署評価	<input type="checkbox"/> ①地方創生に非常に効果的であった <input type="checkbox"/> ②地方創生に相当程度効果があった <input checked="" type="checkbox"/> ③地方創生に効果があった <input type="checkbox"/> ④地方創生に対して効果がなかった <input type="checkbox"/> ⑤効果の有無はまだわからない
担当部署評価理由	施設改修を通じて、関係者が一体となったりリニューアルオープンに向けて活動や、オープン後の集客力アップにより関係人口・交流人口の拡大につながったため、地方創生に効果があったものとする。

## 2. 委員による評価

本事業の実施による、地方創生への効果について御判断していただきます。

- ①地方創生に非常に効果的であった
- ②地方創生に相当程度効果があった
- ③地方創生に効果があった
- ④地方創生に対して効果がなかった
- ⑤効果の有無はまだわからない

委員メモ欄
-------

①	地方創生に非常に効果的であった	例：全ての KPI が目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	例：一部の KPI が目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	例：KPI 達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	例：KPI の実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合
⑤	効果の有無はまだわからない	例：施設を整備中など、KPI の実績が出ていない場合